

12 月 16 日 : VN 指数は反発するも、出来高は低調

主力株が買われ、VN 指数は反発した。しかし投資家の様子見ムードから出来高は低調であった。

ホーチミン市場の VN 指数は 0.08% 高の 1,476.61 ポイントで取引を終えた。

同指数は前日 0.04% 安の 1,475.50 ポイントで引けていた。

騰落別では 209 銘柄が上昇、243 銘柄が下落した。

出来高は前日比で増加し、売買高は 9 億 2,750 万株で、売買代金は約 27 兆ドン（12 億米ドル）となった。

「VN 指数にとって 1,480 ポイント付近は強力な上値抵抗帯となっている。そのため、同指数は直近 1480 ポイントを挟んだ値動きが見られる。新たな買い材料の不足しており、同指数は現在レンジ相場に入っている」（金融ニュースサイト cafef.vn）

VN30 指数は 0.61% 安の 1,510.17 ポイントで取引を終えた。

同指数採用銘柄のうち、18 銘柄が下落、9 銘柄が上昇した。

値上がり銘柄にはヴィエティンバンク（CTG）、ペトロベトナムガス（GAS）、ペトリメックス（PLX）、サコムバンク（STB）、ビナミルク（VNM）が含まれた。

また不動産株にも買いが集まり、多くの銘柄が上昇した。値上がり銘柄にはキンバックシティーグループ（KBC）、ハドグループ（HDG）、ホアビン建設グループ

（HBC）、ホーチミン市インフラ投資（CII）、カンディエン不動産（KDH）、ナムロン投資（NLG）、DIG 投資建設（DIG）、第 14 リコジ建設（L14）、CEO グループ（CEO）、タンタオ不動産（ITA）、ファットダット不動産開発（PDR）が含まれた。

セクター別では全 25 業種のうち、小売、卸売、不動産、石油ガス、建設、水産加工、農業を含む 13 銘柄が上昇した。

その一方で値下がり業種には証券、保険、情報技術、銀行、ヘルスケア、食品飲料、ゴム製品、建設資材、物流が含まれた。

ハノイ市場の HNX 指数は 0.73% 高の 457.03 ポイントで取引を終えた。

同指数は前日 0.22% 安の 453.70 ポイントで引けていた。

売買高は 1 億 1,600 万株で、売買代金は 3 兆 2,000 億ドンを超えた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。